

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年5月13日～2017年5月19日までの推移】

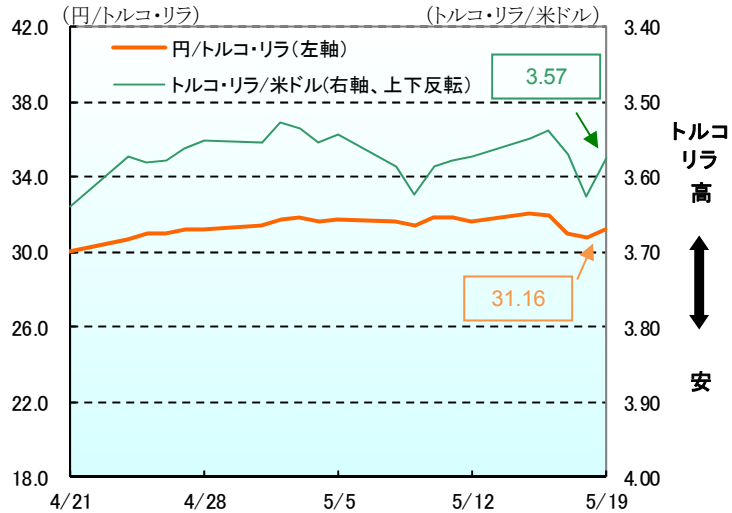
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドルで横ばいとなる一方、対円では下落となりました。またトルコの2年国債金利については、ほぼ横ばいでの推移となりました。米国がシリアのクルド人民兵組織クルド人民防衛隊(YPG)に対して武器供与を承認し、米国と関係の悪化懸念が高まりました。その後、エルドアン大統領とトランプ大統領の会談が行われ、武器供与についての合意はなされなかったものの、引き続き中東におけるテロとの戦いで協力することについては強い意志が示されました。また外部要因としては、トランプ米政権とロシアの不透明な関係に関する疑惑が広がりを見せたことなどが、投資家のセンチメントを悪化させる要因となりました。

【2】今週の見通し

今週は特段重要な経済指標の発表は予定されていません。21日(現地)に臨時の党大会を開催したAKP(公正発展党)は、エルドアン大統領を再び党首に選出しました。エルドアン大統領は2016年7月に発動され、延長を繰り返している非常事態宣言下で強大な権限を有していることに加え、第一党の党首の立場も掌握したこととなります。エルドアン大統領がさらに強権的な方向に進む可能性は否定できないものの、政治的な問題が一段落したことを受けて、今後エルドアン大統領の目は政治面から経済面へ向くと予想します。

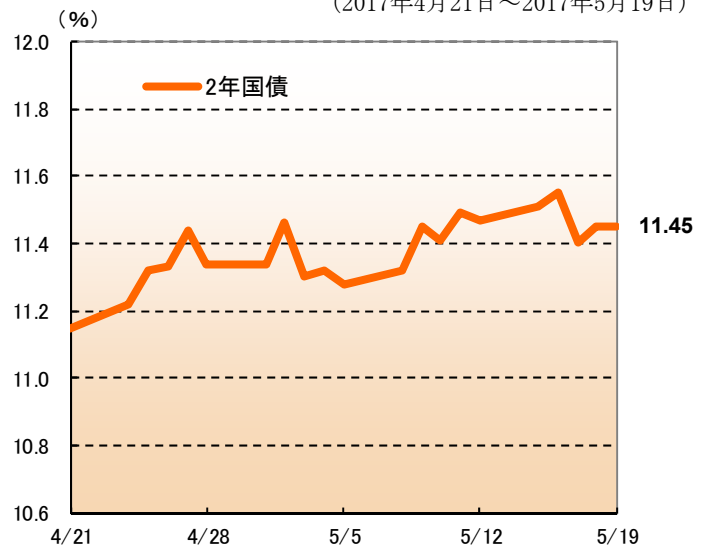
【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年4月21日～2017年5月19日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2017年4月21日～2017年5月19日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>